

引き続き皆さまの

健康増進に取り組みます

ジャヴァグループ健康保険組合の令和5年度の予算案が、去る2月16日開催の第61回組合会において可決承認されましたので、その概要をお知らせします。

当健保組合の令和5年度の予算総額は3億7,837万9千円となり、経常収支差引額は4,422万3千円の赤字を計上しました。

健保財政の収入の柱となる保険料収入は、前年度との比較では保険料率の引き上げにより増加を見込んでいるものの、高齢者医療への拠出金と保険給付費が依然としておおくのしかかっていることから、健保財政は今後も厳しい状況が続くと考えられます。

このような中、政府は、人口減少・超高齢社会の課題に対し、「全世代型社会保障構築会議」を開いて議論を重ね、昨年末に「報告書」をまとめた。医療・介護分野では、「すべての世代での支え合い」「世代間・世代内における公平性の確保」「保険者間の格差是正」などの観点から施策が提案されています。直近では、令和5年4月から出産育児一時金の額が42万円から50万円へ引き上げられ

ることとなりました。その財源の一部には、段階的に後期高齢者医療からの支援が当てられるなど、世代間の負担バランスに配慮した内容となっております。

「保険者間の格差是正」としては、前期高齢者納付金について、現行の加入者割に加え、部分的に報酬水準に応じた調整を行う仕組みを導入する案が示されました。これにより負担が増加する健保組合もありますが、負担増を抑制する支援案も併せて示されており、今後の動向が注視される所です。

その他、ICTを活用した医療の質の向上や効率化を推進するために、令和6年秋をめどに現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと健康保険証を一体化する方針が示されています。

当健保組合では、データヘルス計画の推進などを通して、今後も皆さまの健康の維持・増進に向けた取り組みを進めてまいります。皆さまにおかれましては、当健保組合の保健事業を活用して健康管理に取り組んでいただくのと同時に、ジェネリック医薬品の利用やかかりつけ医の活用を通して、引き続き医療費の節減にご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年度 収入支出予算概要

健康保険分  
収入と支出の割合

毎月の給与と賞与から納めていただく健保組合の主要財源です。「基本保険料」は皆さまの医療費などに使われ、「特定保険料」は高齢者の医療費を支えるために使われます。



医療費の給付や出産、死亡時の手当金の給付などをするための費用です。

65～74歳の方が対象の前期高齢者医療制度への納付金と、75歳以上の方が対象の後期高齢者医療制度への支援金などです。

収入 (千円)		
経常	保険料収入	270,232
	利子収入	212
	その他の収入	2,858
経常外	調整保険料収入	3,972
	前年度繰越金	50,000
	別途積立金繰入	50,000
	その他の収入	1,105
	合計	378,379
経常収入合計		273,302

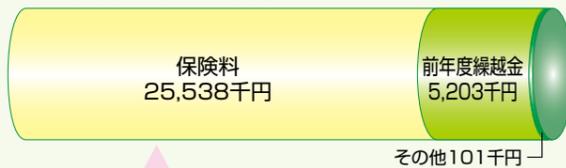
支出 (千円)		
経常	事務費	26,406
	保険給付費	147,782
	納付金	126,240
経常外	保健事業費	15,378
	その他の支出	1,719
	財政調整事業拠出金	3,972
	その他の支出	2
	予備費(残金)	56,880
合計		378,379
経常支出合計		317,525

経常収支 -44,223

経常収入合計 273,302千円 - 経常支出合計 317,525千円 = 経常収支差引額 ▲44,223千円

介護保険分

収入合計30,842千円



40～64歳の被保険者が負担している介護保険の保険料です。



支出合計30,842千円



市区町村に介護保険の財源として配分するために健保組合が負担する納付金です。



付加給付の  
廃止について

当健保組合では、法定以上の給付を行ってきましたが、下記の付加給付については、令和5年4月1日より廃止することになりました。

- 出産育児一時金付加金
- 家族出産育児一時金付加金
- 埋葬料付加金
- 家族埋葬料付加金

保険料率について

- 健康保険料率は引き上げ (82/1000 → 90/1000) となりましたが、介護保険料率は引き下げ (22/1000 → 16.4/1000) となります。

健康保険の保険料収入につきましては社員数の減少や賞与の減額などにより、保険料収入が年々減少していることから健保財政を安定させるため、健康保険料率を引き上げることになりました。

介護保険は来期に対応できるだけの準備金を確保できたことから、介護保険料率を引き下げることになりました。

